動物農場

ジョージ・オーウェル著（訳：高畠文夫）/角川書店 1995年

教員　細見正樹

信じてきた者の裏切りを悟る。優しいタイトルとは裏腹に、現実の革命をモチーフにしている本作は、読みやすいが、冷徹で身につまされる。しかも、登場する動物はそれぞれの価値観を持っており、身の回りの似た人間を思い浮かべてしまう。秀逸な作品は読者の生き様にも問いを投げかける。

レポート課題

あなたは、どの動物に最も似ているだろうか（理由も記載すること）。
また、豚（リーダー）の裏切りに気づいたとき、あなただったらどのような行動を取るだろうか。

審　判

フランツ・カフカ 著（訳：辻セイ）/岩波書店 1966年

教員　佐川友佳子

カフカの作品の中でも「変身」と並び、非常に有名なものの一つである。主人公Kが突然逮捕され、裁判となるが、当の本人には何が起きているのか理解できないままに事態は進行していく。様々に解釈されうる作品であるが、そこで展開されるカフカ的世界に触れ、こういう形の小説があることを知るのも大きな経験である。翻訳はいくつか出ているので、自分にとって読みやすいものを選ぶこと。

レポート課題　以下の二点とも記述すること。

(1) Kの置かれた状況につき、どのような点が問題であると考えたか、印象に残った場面を挙げつつ記述しなさい。
(2) この作品を踏まえ、実際の刑事裁判は当事者にとってどのようなものであるべきかを自由に論じなさい。

恋について

チェーホフ 著（訳：中村喜和）/未知谷 2009年

教員　笠潤平

ゴーリキーはチェーホフについてつぎのように言っています。「…この無力なひとびとの退屈な灰色のひと群れのそばを、大きな、賢い、すべてにたいして注意ぶかい人間が通りすぎた。彼はおのれが故国のこれらの退屈な住人たちを眺め、悲しげな微笑と柔らかい、けれども深みのある非難の調子をもって、顔や胸に希望のない憂愁をもって、美しい心底からの声で言った。『きみたちはひどい生活をしていますよ、諸君！』」（ゴーリキー「追憶」）何となくこのような感慨を起こさせる人は私たちのまわりにも稀にいますね。

レポート課題　チェーホフの短編か演劇の台本から、「恋について」およびそれ以外の作品を1作以上読んで（ネットで「青空文庫」を探して見るとフリーでいろいろ 読めるそうです）、人間について考えたことを自由に論じてください。

失われた時を求めて　いずれかの篇

マルセル・プルースト 著（訳：鈴木道彦）/集英社 2006-2007年

教員　三宅岳史

ある日突然、失われた時（＝忘れていた記憶）とともに、死をも超克するような強い歓びが〈私〉に訪れた。その正体を探究するため、〈私〉はベル・エポックのフランスを背景に、社交界、恋愛、芸術の世界を横断していく。

1篇だけならば『スワン家の方へ』が望ましいが基本的にはどの篇を読んでもよい。文庫で分冊の場合は、その篇（そのほかに『花咲く乙女たちのかげに』、『ゲルマントのほう』『ソドムとゴモラ』、『囚われの女』、『逃げ去る女』、『見いだされた時』の篇がある）は読みとおすこと。
ただし集英社文庫の抄訳は不可。

レポート課題　次の(1)，(2)，(3)いずれでもよい。

(1) 本書には数多くの人物が登場する。〈私〉を含めた登場人物からあなたの印象に残った人物を選び（複数可）、その人物について自由に論じなさい。
(2) 本書には至る所に芸術論が述べられている。それについてあなたの考えを自由に述べなさい。
(3) 失われた時（これまで忘れていたがあることをきっかけに偶然よみがえる記憶＝コンブレー時代の記憶など）について自由に論じなさい。
→本書は長編のためどのページのことを論じているのか必ず記載すること

随筆・ノンフィクション

物理学は越境する
―ゲノムへの道―

和田昭允 著/岩波書店 2005年

教員　久冨信之

「物理学で生物がわかるはずがない」「生物物理はいかがわしい」といった非難のあるなかで，自然科学に境界はない、という姿勢で生命の解明に突き進んだ著者により、自身の研究を振り返りその実績を通じて，横断的かつ境界領域の研究にどう取り組むべきか、について語られた著作。

レポート課題　この作品で論じられている日本における自然科学の問題は何か、今後、自然科学はいかにあるべきかについてあなたが最も強く感じた点について自由に論じなさい。

患者さんの遺した言葉

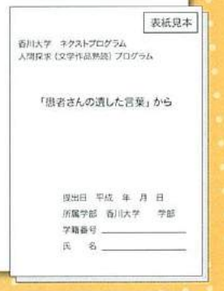
寺本松野 著/日本看護協会出版会 2002年

教員　清水裕子

太平洋戦争の従軍看護師を経験したマリアの宣教者フランシスコ会修道女・看護学教育研究者、故シスター寺本松野教授（聖母女子短期大学）の晩年の渾身の遺作。結核患者、がん患者の終末を看取った経験から、患者さんが最期に遺した言葉に対してシスターが内声を傾ける応答形式の随筆である。
平成21年度から27年度まで全学共通科目「心と体のケアリング」で使用した書籍である。

レポート課題　本書を読み、「心に残った患者さんのことば」を複数引用し、死までに人はどのように生きるべきかを考え、記述して下さい。
表紙はワープロ（見本添付）、レポートは手書き、ワープロどちらでもよい。

[お願い]清水裕子先生に提出するレポートには必ず表紙を付けてください。



伝える極意

長井鞠子 著/集英社 2014年

教員　金正貴美

私が長井鞠子さんを知ったのは、NHK番組「プロフェッショナル　仕事の流儀」である。長井さんは、進国首脳が集うサミット、貿易交渉や軍縮会議、そして2020年東京オリンピック招致に至るまで、過去40年以上日本の外交を支えてきた通訳者であるが、何より気に入ったのは、瞬間的にスパッツと答える俊敏さだけではなく、発言者が伝えたい気持ちまでも伝えることができる自然で幅広い語彙力である。言葉にこだわりぬくとはどういうことなのか、その真摯で徹底した姿勢に感動した。是非学問を探究する学生さんに読んで頂きたい一冊である。

レポート課題　人の心に働きかける言葉とはどういうものか、長井鞠子さんの本を読んであなたの考えを書きなさい。

森の生活（上）（下）

H.D.ソロー 著（訳：飯田実）/岩波書店 1995年

教員　松島欣哉

著者のヘンリー・D・ソローは19 世紀アメリカの著述家で、現代の環境保護思想に先鞭をつけた人物の一人と目されている。本書は、彼がウォールデン湖の畔で2 年2 ヶ月の間、独居したときのエッセイである。

レポート課題　本書には彼の環境保護思想は明確には出ていないが、自然の中で独居生活をする彼と自然との細やかな交流が描かれている。彼の自然との交流あるいは随所で示される人間社会批判を読んで、あなたが考えたことを論理立てて説明しなさい。